

すももの郷通信Ⅱ

落合小
学校通信
No. 10
2023,8,29
発行 宮崎

さあ、2学期スタートです！！

教室からそして、校庭から元気のよい子どもたちの声が校長室まで聞こえてきます。やっぱり、この元気な声が学校になくてはいけません。長くて楽しかった36日間の夏休みも終わり、2学期が始まりました。

夏休み前に、「あんなこともしたい。こんなこともさせてみたい。」と思っ
ていても、お家の方の仕事の都合や子どもの体調などにより、計画通りにはい
かなかったこともあったかもしれませんね。それでも、親と子でこの夏休みを通
じていろいろ再発見したこともあるのではないのでしょうか。

私も、この期間、「あんなことも、こんなこともしたい。（しなければなら
ない!）」と思っ
ていましたが、計画倒れになってしまったものも多かったです。予定通りに
できたことといえば、畑の草刈りと地域の育成会ラジオ体操への参加です。
ラジオ体操は、1週間という限られた期間でしたが、毎日参加しました。そ
こは、頑張りました。

さて、1年で一番充実した時期、2学期を迎えます。よりよい自分を創る
ため、さらなる高見にどの子も上っていけるよう、落合小学校全職員で
子どもたちを支援していきたいと思ひます。



2学期の始業式から

8月25日（金）の始業式で児童代表の発表がありました。今回は、2年生と5年生の代表児童が「2学期への決意と夏休みの思い出」を上手に発表してくれました。紙面の関係上、それぞれの児童の「2学期への決意」の部分を紹介し
ます。



～2年生 I・Kさん～

「2学期に頑張りたいことを二つお話しします。一つ目は算数の九九です。2年生の2学期から始まる勉強です。かけ算の勉強は始めてなので、間違えずにスラスラ言えるように練習したいです。二つ目は運動会です。1年生の時には勝てなかつたリレーを頑張りたいです。2年生になると回るコーンが遠くなるので頑張って走りたいです。1年生にも優しく教えてあげたいです。」

* 1年生に優しく教えてあげているKさんの姿が目につかびます。たのんだよ。

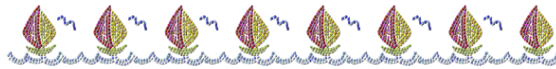
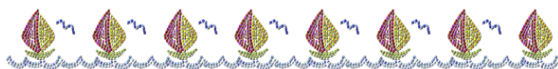
～5年生 K・Mさん～

「2学期に頑張りたいことは二つあります。一つ目は授業です。特に算数です。1学期学んだことは、2学期でもいかされると思うので、間違えたところは正確に取り組みたいです。二つめは落合子どもフェスティバルです。5年生は下級生を引っ張る役目になります。だから、班の友達と協力して下級生を困らせないようにしたいです。」

* 高学年生としての自覚が感じられます。大きく成長できる2学期になるといいですね。

P T A環境整備作業ありがとうございました。 8月19日（土）6:30～

2学期を気持ちの良い環境で始めるため、そして、9月末の運動会に向け環境を整えるために、P T A環境整備作業が行われました。2・4・6年生とP T A本部役員さんの合わせて約40名の保護者のみなさまにご協力いただき、畑や校庭の除草等を進めることができました。学校が気持ちの良い状態となり、子どもたちがさらに豊かに活動できることでしょう。早朝より作業をしていただき、ありがとうございました。



この夏のスポーツ、「高校野球」

この夏熱く燃えたスポーツと言えば、4年ぶりに声出し応援が復活した「夏の甲子園、高校野球」は外せないですね。107年ぶり2度目の優勝を目指す慶応と連覇を目指す仙台育英との決勝は、大会を象徴した盛り上がりを見せました。高校野球ではありませんが、懸命に打ち込む人の姿からは気づかされることが多々あります。



「エンジョイ・ベースボール」を掲げる慶応の勝利は新しい高校野球の姿につながるのではないかと声も聞こえてきます。ただし、耳触りの良い「エンジョイ・ベースボール」という言葉だけが独り歩きすることへの懸念もあります。「エンジョイ」という言葉の捉え方が肝となるのでしょうか。慶応の選手の試合後の談話に「必要と思えば、一日に千スイングした。」とありました。ただ、命じられてノルマの千スイングをこなしたわけではありません。必要だったから千スイングしたのです。そして、何のために必要だと考えたのかというと、仙台育英に勝つため（日本一になるため）です。今春の選抜大会初戦では、前年度日本一の仙台育英に延長戦の末サヨナラ負けを喫し、日本一との距離を感じ取ったそうです。自分たちで、こんどこそ仙台育英に勝つ（目指すゴール）と決める。そして、そのために千スイング（必要なこと）を考えて、それをやり抜いたということです。慶応の監督の言葉に「成長こそが高校野球の価値だ」とありました。子どもたちが、自分の目指すべきゴールを決める。そして、そのために必要なことを自分で考える。そして、やり抜く。その過程の中で自分自身の成長を感じることが慶応の「エンジョイ・ベースボール」だったのではないかと考えます。そして、「成長」と「勝利」の両立を図ったところに、監督の手腕があったのではないかと思うのです。

塩分補給

水分補給

十分休養

熱中症知らずの3原則

8月も終わりに近づいてきましたが、まだまだ残暑は厳しいようです。各教室にはエアコンや扇風機が設置されているので、過ごしやすくなっています。しかし、登下校や運動会練習など校庭・

体育館での活動では、熱中症対策が必要です。水筒、タオル、帽子、必要に応じて着替えなど熱中症対策にご協力をお願いいたします。学校においても、暑さ指数（WBGT）を計測しながら、十分に気をつけてまいります。

【教育実習生です】

落合小学校の先輩で、小学校教諭を目指す、教育実習生がやってきました。都留文科大学に通う「塩澤美希さん」と「塩澤颯斗さん」です。将来、学校の先生になりたいと希望する若者です。8月28日（月）から、9月22日（金）までの、およそ1か月間の実習となります。美希さんは2年生に颯斗さんは5年生に入っている実習となります。2人の想いを後押しし、実習生にとっても、子どもたちにとっても得るもの大きい実習としていきたいと思っております。

「時間の使い方」

東京にある聖路加国際病院に日野原重明先生という方がいらっしゃいました。100歳を超える現役のお医者さんとして、 年に 歳でお亡くなりになるまで、ご活躍されました。その日野原先生が生前「命」ということについて、ご自分のお考えを本にお書きになったり、ご講演なさったりしてきました。「命」という言葉はよく耳にしますが、「命って、目に見えますか?」「命って何ですか?」そう聞かれると、簡単なようでなかなか説明は難しいものです。

日野原先生は「命」とは、「自分に持っている時間を大切に使うことです」とおっしゃっています。およそ、日本人の寿命は80歳くらいといわれていますが、私自身も80歳まで生きられるとしたら、あと何時間あるでしょう。

時間の流れは、一人一人に平等ですが、日野原先生が言われる「時間を大切に使う」とはどういうことでしょうか。朝起きて、ご飯を食べて、歯磨きをして、トイレに行って、着替えて家を出て、みんな自分のために使っている時間です。それでは、自分以外の人のために時間を使うことはあるのでしょうか。よく考えると、色々あるのではないのでしょうか。子どもレベルで考えても、学校で掃除をする、給食当番をする、委員会活動をする、あるいは家でお手伝いをする、草花に水をあげる。これらのことは、自分以外の人や物のために時間を使うことになります。自分以外の人や物のために時間を使うことはいつも簡単にできるとは限りません。自分以外の人や物のために時間を使うためには、そこに何らかの想いがあるはずで

だからこそ、自分以外の人や物のために時間を使うことは、人として生きていく上で肝になるのではないのでしょうか。そして、そのことが「時間を大切にすること」やがては、「命を大切にすること」になるのではないかと思います。

2学期の始まりにふさわしい言葉を全校集会時に、子どもたちに話しました。

相田みつをさんの『**夢はでっかく、根はふかく**』という言葉です。

大きく飛躍するには、大きな夢を持ち、根をしっかりと張って力強く成長していくことが大切です。前向きに、前向きに、グンと成長できるよう、目標をもう一度確認し、夢を大きく持って学習に生活に取り組みせていきたいです。すべてのことが血となり肉となるよう係わっていくことが私たち大人のつとめです。2学期もご協力をお願いいたします。ともに子どもたちを育てていきましょう。

「災害は忘れたころにやって来る」ではなく

「災害はもうすぐ来る」の意識で

東日本大震災からすでに7年半が経ちました。あの恐ろしい記憶が薄らぐ中、今はどちらかという
と草津白根山の水蒸気爆発、新燃岳と硫黄山の噴火、8月には口永良部島の噴火警戒レベルが引き上
げられたこと、少し戻れば6月に大阪北部で最大震度6弱の直下型地震が発生したことに注目が集ま
り、西日本を中心に降り続いた豪雨、猛暑・酷暑の暑さが続いた7月・8月前半、そして台風の異常
な進路（逆ルート）、異常気象などの話題も多くを占めています。

地震も噴火も豪雨も天災という括りの中で、今まさに大きな災害がいつ来てもおかしくない状態だ
という意識を持つことが必要です。特に山梨県は、「糸静線」系の活断層が広がる地域にあり、東海
地震や南海トラフ地震も含めて一層の警戒が必要だと言われています。学校では9月5日（水）に地
震を想定した避難訓練を行います。この訓練は、今起こってもおかしくない天災に対して、普段から
練習を積んでおいて、いざというときに落ち着いて行動し、安全に全員が避難できるようにするた
めのものです。合い言葉の「お・は・し・も」をしっかりと守れるように指導していきます。

家にいるときに災害（地震や火災等）に遭った場合、どのように行動したらよいか、避難の方法、
避難場所などを確認しておくといいですね。また、9月2日（日）に行われる各地区での防災訓練・避
難訓練にも親子で参加してほしいと思います。「備えあれば憂いなし」、普段から訓練と侮ることな
く準備しておきたいものです。

1年生が保育所との交流会を行いました。 7月5日（水）

落合保育所とポップの家の園児を招いての、交流会を1年生が行いました。日ごろは、上級生のお兄さんやお姉さんに囲まれての小学校生活ですが、この時ばかりは、1年生がお兄さんやお姉さんです。当日は、みんなで七夕飾りをつくりました。園児の願い事を聞き取って、短冊に書いてあげたり、色紙で飾りの作り方を教えてあげて一緒に飾ったりと、優しく接している1年生の姿が微笑ましかったです。とても素敵な時間を過ごすことができました。



4年生の福祉体験 6月27日(月)

社会福祉協議会から7名の講師を迎えて、4年生が福祉体験を行いました。アイマスクをしての「白状体験」、ゴーグルや重り等を身に付けての「高齢者の疑似体験」、そして、「車いす体験」とそれぞれの場を設定していただきました。学習後の子どもたちの言葉を少し紹介します。

「白状体験では、人の声を聞かないとこわかったです。」

「私は、目の見えない人たちをサポートしたり、声をかけたり、自分ができることをなるべくしてあげようと思った。」

「車いす体験では、段差を上り下りする時は、声をかけてあげると乗っている人も安心することが分かりました。」

「高齢者は、届かないだけではなく、いたくて届かないので、一日一日がすごく大変なんだということが分かりました。」など、たくさんの言葉がありました。

実際に体験することによって、より深い学びとなりました。



児童会活動 『にっこにこの木』



今年度、児童会では「にっこにこの木」の取組を行っています。みんなで、友達のよいところや感謝の気持ちをカードに書き合い、そのカードを貼り合わせて「にっこにこの木」を完成させます。

この取り組みを通して、落合小のみんなのよいところをたくさん見つけて、「にっこにこの木」を増やしていこうという取組です。今は、幹を作っているところです。これから、どんな木に育っていくのか、とても楽しみです。



アゲハチョウが羽化しました



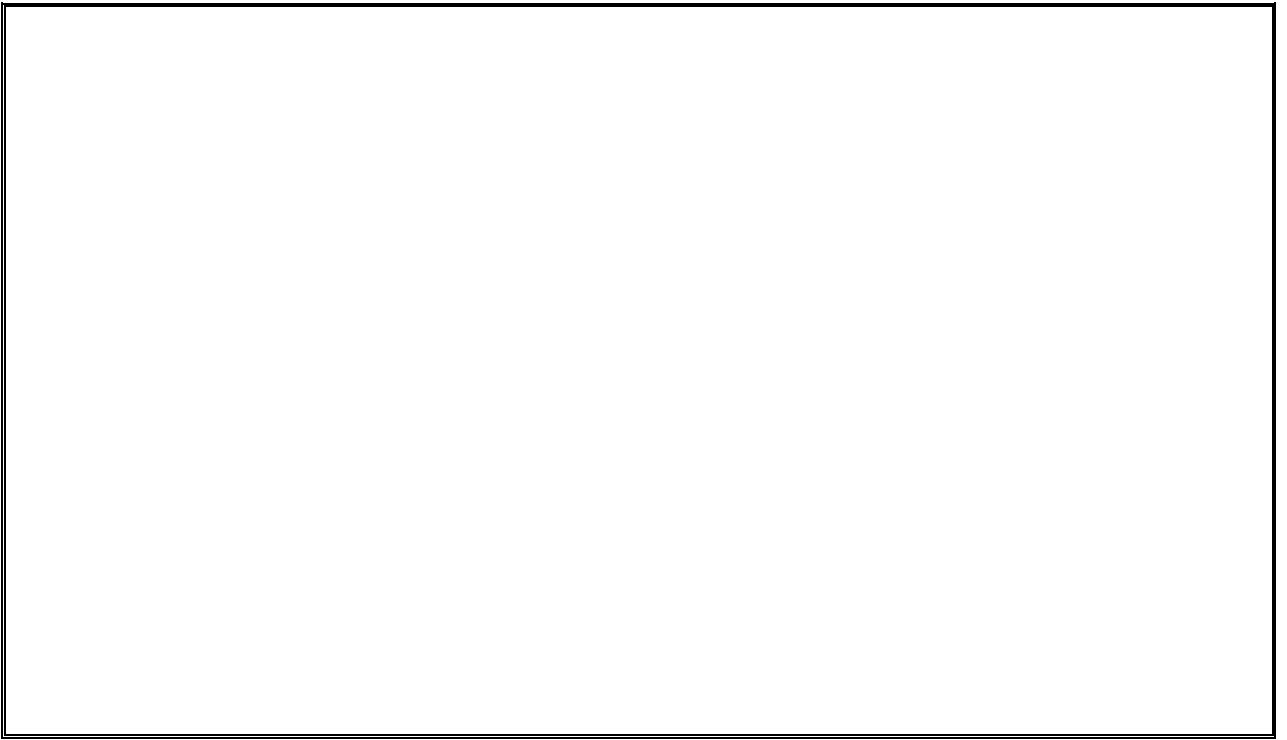
落合小学校の児童玄関には、教頭先生が作ってくれた素敵なスペースがあります。6月上旬にそこに、アゲハチョウの幼虫がやってきました。幼虫はミカンの木やゆずの木をどんどん食べて大きくなっていきました。やがて、6月25日、サナギになりました。そして、7月4日、サナギが羽化しました。子どもたちは、児童玄関に来ては足を止めて、日に日に変化その様子を毎日、間近で見てきたのです。

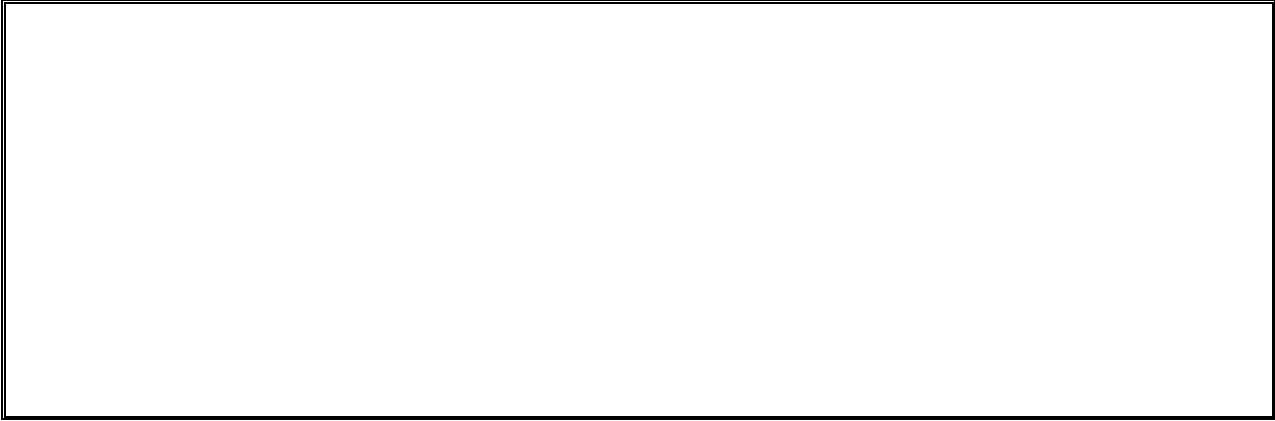
アゲハチョウの横には、ミニビオトープと呼べるような水槽があります。そこには、ゲンゴロウ、ヤゴ、オタマジャクシ、ドジョウなどの姿を見つけることができます。



とっても素敵なスペースです!!

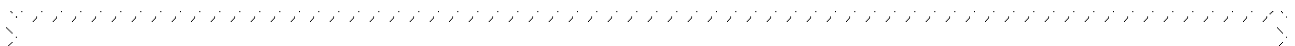
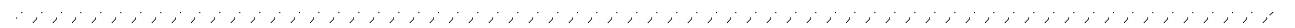






5月30日（火）、今度は、5年生が家庭科の時間に調理実習でゆで野菜（ほうれん草）とゆで卵に挑戦しました。今回もおすそ分けで、職員室でも試食させていただきました。ゆで加減が絶妙でした。とても美味しくいただきましたので紹介します。今回も保護者の皆さんにも召し上がっていただきたいところですが、写真だけで申し訳ありません。
5年生のみなさん、ありがとう！！

【5年生作 ゆで卵とゆで野菜】



人権とは、「自分がされていやなことは人にしない。」ともいえるし、「人が安心して・自由に・自信をもって生きられる」という表現もできるでしょう。「すべての人が人間らしく生きる権利」人権というのは、わたしたち一人ひとりにとってかけがえのないものであり、誰もが生まれながらにして持っている人間として幸せに生きていくための権利です。それは、一人ひとりが大切にされることだったり、みんなが同じように学校で勉強できることだったり、自分の思っていることを発表できることなどをいいます。子どもたちも大人もだれもが、世界中のみんなが同じように人権を持っているのです。自分のことだけでなく、まわりの人のことも大切にして、お互いに認め合うことが大切です。